米子工業高等専門学校広報誌

彦名通信

No.157
平成21年7月

入学式

実験の様子（1M）

前期中間試験（1E）

新入生オリエンテーション

CONTENTS 目次

新年度特集
校長より …… 2
入学式の様子 …… 2
副校長、各主事より …… 3
新任教職員挨拶 …… 4
クラス便り
1年機械工学科 …… 5
1年電気情報工学科 …… 6
1年電子制御工学科 …… 7
1年物質工学科 …… 8
1年建築学科 …… 9
クラブ便り
クラブ紹介 …… 10
活動報告 …… 10
松江高専定期戦 …… 11
学生会便り
学生会紹介 …… 11
地域交流
地域共同テクノセンター紹介 …… 12
研究活動
研究紹介 …… 13
学会表彰 …… 13
トピックス
トピックス …… 14・15
前期行事予定 …… 15
専攻科便り
専攻科長より …… 16
専攻科交流会 …… 16
編集後記 …… 16

米子高専の地域共同教育

校長　水島　和夫

米子高専では、昨年、文部科学省が公募する「質の高い大学教育推進プログラム」（通称「教育ＧＰ」）として、新たな環境教育の取組、『中海とともに育てる地域連携型環境教育』の採択を受けました。この取組は、全学科の３年生以上を対象に、身近な自然環境である中海を題材として３年間の環境教育を行うもので、昨年秋から、まず３年生を対象に、中海を知るための講演会、中海船上視察、中海の環境保全や有効利用のアイデアを各学科混成グループで競う環境コンテストなどのプログラムを開始しています。文部科学省から支援を受けるのは３年間ですが、その後も継続して取組を続けてゆく予定です。

この取組の特色は、米子市環境下水道部や米子水鳥公園、中海の環境保護に取組むＮＰＯ法人の関係者に講演やコンテストの審査員をお願いするなど、本校教員からだけでなく地域の専門家・関係者の協力を得ながら学生が学んでゆく、『地域共同教育』のプログラムだということです。

本校は、以前から学校の教育・研究力を公開講座や出前講座など地域の生涯学習に役立ててきたところですが、『地域共同教育』は、一方的に地域の人々の学習を支援するのではなく学校の教育自体を、学生が教員から学ぶだけでなく地域の様々な人々と連携しながら一緒に学びあってゆこうとするものです。

従来から本校では、産業界の現場で活躍している方達を随時講師に迎えるなどを行ってくるとともに、近年では、建築学科で『環境共生型ものづくりデザイン教育』として行っている間伐実習など林業体験学習を導入したものづくり学習の取組や、鳥取県消費生活センターとの連携による、本校4年生と県民が教室で一緒に学ぶ「くらしの経済・法律講座」を、地域共同教育として実施し効果をあげています。今年５年目となる前者は林業家、木造住宅推進協議会会員、県林業振興課員から山林環境や林業について学びながら間伐材活用のものづくり学習を行う授業、３年目となる後者は社会生活に役立つ経済・法律知識について各現場で活躍している弁護士や専門家など様々な実務家達を消費生活センターの声かけで講師に迎えて行う授業で、修了学生には選択科目「社会科学Ⅲ」の単位が与えられます。

『中海と共に育てる地域連携型環境教育』は、地域共同教育を全学的に行ってゆこうというもので、昨年度履修した学生へのアンケートでも好結果を得ています。今後、ＮＰＯ法人や行政など地域の関係者や住民を巻き込んだ「環境フォーラム」なども開催して、地域の方々と共に学びあいながら環境教育の実をあげてゆく予定です。

米子高専は、このような『地域共同教育』の中で、学生を育て、また地域の発展に一層の貢献を果たしてゆきます。

入学式の様子

４月７日（火）、本校第一体育館にて入学式が挙行されました。入学生数は、機械工学科42名、電気情報工学科43名、電子制御工学科41名、物質工学科41名、建築学科38名、編入学生１名、留学生２名、専攻科25名です。

副校長より

物質工学科　小田　耕平

総務では、対外的な公式ホームページ（HP）の管理や全学生に対する学習環境などに関するアンケート調査の他に、環境への取組や情報セキュリティに関する活動にも参画しております。環境への取組として、本校でも昨年度から環境方針を決めるとともに環境マネジメント組織を本格的に立ち上げ、エネルギーなどの使用量や廃棄物排出量の把握を行うとともに、温室効果ガス（CO_2）や廃棄物の排出量の削減目標を決めて取り組んでいます。CO_2削減では一定の成果を上げていますが、ゴミについてはなかなか減容化ができていない状況です。今後、ゴミの排出を少しでも減らすために教職員はもとより学生の皆様にも協力をお願いします。一方、新聞でも取り上げられているソフトウエアの不正コピー使用や個人情報の漏洩等を防止するための情報セキュリティについても、本校として取り組んでいます。

■総務主事補：青木(C)、山本英(D)

寮務主事より

機械工学科　大塚　茂

御存知のように、本校の学生寮は遠方から通学困難な学生が利用する生活の支援施設であるとともに教育寮としての側面も持っています。H21年度５月現在の寮生数は、新入寮生として、１年生男子48名、１年生女子10名、３年次の編入留学生２名（マレーシア）、４年次の編入学生1名の計61名を加え、総勢248名となりました。例年に続き、男子寮の充足率は90%を超える非常に高いものとなりました。この寮生たちを支える寮運営には教員10名、事務職員２名、寮母３名、計15名の教職員があたっており、さらに高砂寮寮長をはじめとする寮生会の役員諸君も日常における寮生活の主体的自治・運営を行うことで、本校の教育寮としての立場を維持・強化してくれています。

ところで、今年度の寮でのスローガンは昨年度に続き、「社会で役立つ共同生活の場を目指して－Better Community with Cooperation－(6C for 2C) 2nd-S.です。昨年度末のベッド、机・椅子などの備品の更新、あるいは内装補修工事、さらに各棟一部共用場所へのエアコンの設置、等によって寮生の生活環境はかなり改善されて来ております。一方、１年生に対する勉学支援として、昨年度好評を博した定期試験対策を中心とする寮内での勉強会を今年度も実施していきます。高専での学寮生活が良き思い出、さらには健全な社会生活を送る上での鍛錬の場になるようスタッフ全員でサポートしていきます！

■寮務主事補：能登路(D)、権田英(E)、中島(G)、里村(C)、奥雲(E)、井上(D)、田中博(E)、藤木(A)、中川(G)

教務主事より

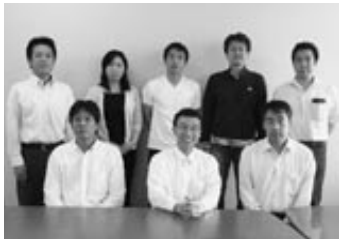
電子制御工学科　香川　律

インターネットなど情報通信技術の発達や安い人件費・材料費を求めた海外・現地生産の伸張などに伴う経済のボーダレス化はますます進展し、地球温暖化など環境問題が地球規模の広がりを見せていることもあって、企業やエンジニアには、常に、グローバルな視点で物事を捉え考える姿勢が求められています。一方、“ゲーム業界は不況知らず”と報じられていますが、ゲーム機などのプラスチック成形技術は今や中国の方が優っているとも言われ、我が国の産業界には、より付加価値の高い“ものづくり”も求められています。このような中、企業が求める人材像は、高度経済成長期の“決められたことをきちんと処理する人材”から、変化の激しい時代にあって、“新たなものを見出し、思考し、行動できる知恵を備えた創造性豊かな人材”へとシフトしています。今年度は、“国際性と創造性を育む教育システムの整備・充実”を掲げ、本校教育の質の向上に努めて参ります。

■教務主事補：山田（A）、田中晋（C）、浅倉（E）、権田岳（M）、大塚宏（M）、松本幸（A）

学生主事より

一般科目　竹内　彰継



今年度から新しく学生主事を拝命いたしました一般科目の竹内です。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、本校には学生の自主性を重んずるという校風があり、開校以来半世紀近い間大切に守られてきました。しかし、それは学生が節度と良識を持って行動するという前提があって初めて成立する指導方針です。非常に残念なことですが、最近その前提が崩れた学生が増えてきており、問題行動も目につくようになってきました。また、近隣の方々から通学途中の自転車の運転が乱暴であるとか、弓ヶ浜駅でのマナーが悪いなどの苦情が少なからず寄せられています。今後このようなことが続けば指導方針の見直しも検討せざるを得なくなるでしょう。本校の伝統を守るためにも保護者の皆様方のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

■学生主事補：蔵岡（G）、藤井（C）、中山（D）、黒川（G）、細田（A）、谷藤（C）、大野（G）

新　任　教　職　員　挨　拶

電気情報工学科
助教　**松岡　祐介**

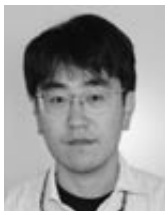
本年度から、米子工業高等専門学校の電気情報工学科に赴任しました松岡祐介です。出身は東京都の立川市というところになります。昨年度まで法政大学の大学院生でしたので、教員としてだけではなく社会人としても新人ということになります。まだまだ至らない点は多々あると思いますが、ご指導･ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

建築学科
講師　**細田　智久**

私は1995（平成7）年3月に本校建築学科を卒業しました。その後は、豊橋技術科学大学へ編入学し、設計事務所勤務や技科大教員を経て、14年ぶりに母校へ戻ってきました。これからは、山陰地方の建築・地域・都市の計画の分野において、実践的な教育と研究を通じた積極的な地域貢献を目指し、本校の学生と共に取り組んでいきます。

建築学科
助教　**藤木　竜也**

建築学科に着任しました藤木竜也です。授業は専門の建築歴史・意匠に関わる各科目を担当させていただいています。趣味は建築探訪とギター、それに陶芸。大学のサークルが縁で、陶芸歴は10年を数え、かつては陶芸家を夢見ていたこともありました。鳥取県の因幡地方は密かに知られる陶芸の地、いずれは訪ね歩いてみたいと思っています。



一般科目
助教　**中川　右也**

1980年８月11日（12時15分）に名古屋市に生まれる。運命星は水星人＋。趣味はラーメン&カレー屋めぐり。穏やかそうな性格に見えるが、実際は非常に厳しい。話しにくいように見えるが、実際は気さくな性格だと自分では思っている。噂話より、専らカリフォルニア産クラインを飲みながら、言語現象の不思議さに思いを馳せる方が好き。

学生課長
横田　裕一

このたび、愛媛大学から転任してまいりました。高専でも中国地区でも勤務は初めてで、加えて学生関係の業務もあまり経験がありませんので戸惑うことが多く、みなさまにご迷惑をお掛けしておりますが、１日も早く学生が充実した学校生活を送れるよう努めていきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

総務課長補佐(財務担当)
盛山　憲治

この度、鳥取大学医学部からこちらに転任になりました。前任の医学部では主に附属病院の高額医療機器､医薬品の調達担当をしておりました。職場環境が変わり、戸惑うことも多いですが、学生の気持ちよい挨拶と活気に助けられています。微力ではありますが、大学での経験を生かしながら、高専の発展のために貢献できますよう頑張りますのでよろしくお願いいたします。

総務課総務係
藤谷　佐恵

４月より、総務課総務係の事務補佐員としてお世話になる事になりました。これまで会社の事務員として勤めていました。学校で学生さんと話す機会はほとんどありませんが、新しくも、懐かしくもある環境の中で、少しでも多く米子高専に貢献できるよう勤めたいと思っております。よろしくお願い致します。

総務課
高橋　重信

この度用務員としてお世話になることになりました髙橋と申します。前職は自衛官で顔に似合わず趣味は掃除と草取りとガーデニングです。趣味を活かし用務員として頑張りますのでどうぞよろしくお願いいたします。

学生課学術情報係
舩本　浩子

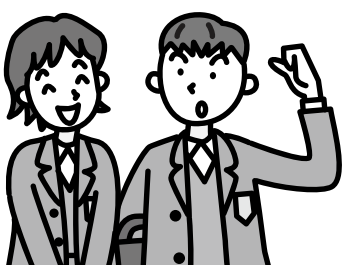
４月から図書館で勤務しています。２年前まで小学校で講師をしていた、生粋の米子市民です。小学生の頃から、図書室がお気に入りの場所で、読書が大好きだったので、今は毎日、幸せ気分です。居心地のよい図書館を目指して頑張りますので、よろしくお願いします。皆様、ぜひ図書館へお越し下さい。お待ちしています。

学生課学生係
船木　美樹

４月よりお世話になることになりました船木です。４年生のインターンシップを主に担当させて頂きます。普通高校と違い、私服の学生さんや１時限毎にチャイムが鳴らないなど初めての事に戸惑いながら過ごしています。校舎平面図を片手に教員室を探し歩く日々ですが、皆様のお役に立てるよう頑張りますのでよろしくお願い致します。

後援会
田辺　愛子

昨年11月10日から後援会で勤務することになりました。これまで民間企業で事務をしてきたのですが、初めての学校勤務で戸惑うことがとても多いです。早く仕事を覚え皆さんのお役に立てるよう頑張りたいと思います。少しずつですが専攻科の仕事もさせてもらいますのでよろしくお願いいたします。



1年機械工学科

クラスデータ

学生数　43名（男43）
寮生数　11名
（鳥取西部2、鳥取中部5、鳥取東部3、兵庫県1）

■男臭いクラス　福光健太郎

米子高専に入学してから、もう２ヶ月が過ぎようとしています。僕のいるこのクラスも、今では女子のいないせいか、だんだんと男臭くなってきました。入学当時、どこからともなく聞こえてきた、「女の子～」という悲しい悲鳴もなくなり、男だけのクラスならではの団結力がついてきました。一人一人が自分の気持ちを素直に言い合うことのできるクラスになってきたと思います。これからの高専生活の５年間を、このクラスのメンバーで過ごせると思うと、とても楽しみです。僕が学級委員になったからには、誰一人留年せず、共に笑い共に泣く、そしてもっと協力して心を一つにできる、そんな最高のクラスを作っていきたいです。５年後に４３人全員で卒業式を迎えられるよう、みんなで力を合わせて頑張っていきましょう。

■オリエンテーションを終えて　小林　裕太

オリエンテーションを通して、友達が多くなったと思います。オリエンテーション前は、同じ中学校の人と部活が一緒な人としか話せず、それ以外の人とは話したりできていませんでした。オリエンテーションで、同じ中学の人、部活が一緒な人以外とも積極的に話すようにして、友達がたくさんできたと思います。

大山寺に登った事も心に残っています。特に帰りの川の透明さには、びっくりしました。空気もとてもきれいで、自分の住んでいる所とは全然違うというのが分かりました。オリエンテーションで、たくさんの事を学べて、よかったです。

担任インタビュー

一般科目
平澤　信一

このクラスの特徴を教えてください。

男子学生だけのクラスです。とても元気が良くて、力が漲っている感じです。学級役員も、その勢いで、たちまち決まってしまいました。みんなで何かできる。そんな気がします。

どんなクラスになってもらいたいですか？

それぞれが持っている力をうまくコントロールして、良い意味で活気のあるクラスになってほしいです。男子クラスの長所を伸ばしていけると良いと思います。

最後にクラスの学生にメッセージを。

一年の間には、いろいろあるだろうと思うけど、最後までよろしく！

1年電気情報工学科

クラスデータ

学生数　44名（男40、女4）
寮生数　14名
（鳥取中部8、鳥取東部2、兵庫県3、岡山県1）

■米子高専に入学して　米原　涼平

米子高専に入学してからもう２ヶ月が過ぎました。入学当時、クラスは、沈黙していました。クラスにいることがとても辛かったです。まるでテストや、授業中のときみたいに喋ってはいけないルールがあるようでした。

オリエンテーションでクラスの役員を決める時に、僕は中学校の頃務めていた学級委員を続けたいと思い立候補しました。高専でもしっかり引っ張っていけるかまだ不安だけど、立候補のおかげでみんなに顔を覚えてもらいたくさん友達が増えました。他の皆もオリエンテーションのおかげでいろんな人と話すようになり、クラスに活気が出ました。担任の先生も明るい先生で、全員がクラスに馴染めるようにしてくれてみんながクラス内での自分の居場所ができたと思います。まだ頼りない学級委員ですが頑張っていきたいと思います。

■高専に入学して　堀越　絵廉

高専に入学して約２ヶ月経ちました。入学して一番大変なことは勉強の進むスピードがとてもはやいことです。正直まだ慣れていません。ですが、分からないところがあったら友達、先輩、先生に聞いたり、宿題を忘れずしっかりやってがんばりたいと思います。

クラスもはじめはとても静かでしたが、今はみんな仲良く、楽しくなってきました。これから５年間付き合う仲間としてもっと仲良くなり、このいい雰囲気を保っていい思い出作りをしていきたいです。

５年間勉強など大変なことがたくさんあると思うけど、周りの人と協力して楽しく有意義な学生生活を過ごしたいと思います。

担任インタビュー

一般科目
越智　信彰

このクラスの特徴を教えてください。

まだまだおとなしい印象です。素直でいい子たちですが、もう少し行動力を発揮して、若さ・パワーを前面に押し出してもらいたいです。

どんなクラスになってもらいたいですか？

学ぶときは一生懸命に学び、遊ぶときは思いっきり遊ぶ。将来をしっかりと見据えて、誘惑に負けず、今やるべきことをきちんとやっていってもらいたいです。授業中に寝てはいけません！ケータイをかまってはいけません！

最後にクラスの学生にメッセージを。

これから楽しいこと、大変なこと、いろいろあると思いますが、みんなで一丸となってがんばっていきましょう！

1年電子制御工学科

クラスデータ

学生数　45名（男39、女6）
寮生数　10名
（鳥取中部4、鳥取東部4、岡山県1、京都府1）

■オリエンテーションで思ったこと　寺西　心

「本当に自由な学校なんだなア！！」

これが、私が高専に入学してから、また、このオリエンテーションに参加していちばん強く思ったことです。私は今まで、割と学校の規則をきちんと守ってきた方だったので、この違いに戸惑いながらも、おもしろいなと感じています。オリエンテーションについて挙げてみると、勉強道具は一切持たず、携帯電話を自由に使い、自由時間にはお菓子を買ったり食べたりできます。米子高専の学生にとってはこれが当たり前なのかと思うと、感嘆ものです。同じときに他の高校の合宿があり、その高校の友達とメールを交換したのですが、上に挙げたこと、どれも先生に見つかったら大目玉を喰らうものばかりだと聞きました。そんな友達の話は、高専生側の私にとっては、ただ驚くばかりでした。

その代わり、不安なこともありました。自分の身を守るのは自分なんだということを、自覚しました。

■オリエンテーション、そしてこれから　西村　康祐

僕は、今回のオリエンテーションを通じて、それまで話したことのない人と話すことができました。自分の印象でアノ人はこんな感じなんだろうなと思っていた人が、同じホテルに宿泊し寝食を共にすることで、その人の意外な一面を知り、今までよりも数倍仲良くなることができました。なかには、意外と気の合う人とかいたりしておかしかったです。

この二日間のオリエンテーションで、仲間との信頼感とか仲間意識とか、いろんなものが芽生えた気がします。これからの５年間、楽しいことや辛いことやいろんなことがあると思うけど、協力して乗り越えていきたいです。

担任インタビュー

一般科目
山藤　良治

このクラスの特徴を教えてください。

真面目かと思うとそうでもないこともあり、集中力アリと安心していると肝心な連絡事項が伝わっていなかったり、それぞれがマイペースに見えながら雰囲気に影響されクラス全員が似かよったことになったり、いまだに特徴が見えません。一つだけ言えるのは、話してみると思慮深い人が多く、印象よりも内面は個性的です。

どんなクラスになってもらいたいですか？

45人もいれば、言い争いになったり不快な思いをしたりさせられたり、衝突や喧嘩があるのは仕方ないし、時には必要なことかもしれませんが、どんな状況においても相手の立場や個性を尊重する気持ちを忘れないで下さい。それができれば、すべての人に居場所が確保された、誰にとっても居心地のいいクラスになるはずです。

最後にクラスの学生にメッセージを。

平静を装うようにしてはいますが、皆さんの言動に理解が及ばず、困惑することしばしばです。年の差のせいだとすれば、お互いさまということでしょうか。コミュニケーションを心がけ、皆さんから受け容れるべきことを受け容れ、皆さんに伝えたいことを伝えようと思っています。では１年間よろしく。

1年物質工学科

クラスデータ

学生数　42名（男26、女16）
寮生数　 9名
（鳥取西部1、鳥取中部5、鳥取東部1、島根県1、広島県1）

■クラスの様子　西山　朝之

僕のいるクラス１Ｃは、休憩時間になると、とても楽しそうに笑いあい、ふざけあい、授業になると、とても静かに集中しながら受けるといった風に、スイッチのオンオフがとてもしっかりしていて、いざというときはとても頼りがいのあるクラスだと思います。

入学後すぐにあった大山でのオリエンテーションを通じて、男子同士や女子同士での交友関係がとても広がったと思いますが、男女での交流がまだ少ないので、これから高専で行われるたくさんの行事を通じて、クラスの結束力がどのように大きくなっていくのか、とても楽しみです。

■私のクラス　坪井　亮宏

私から見て、クラスの雰囲気は、男子は男子で、女子は女子で仲良く話をしており、いずれは男女の間の仲も良くなれる兆しがあります。最初、私は友達ができるか不安でしたが、そんな不安が取り越し苦労だったかのような明るさです。しかし、これが最初からだったわけではありません。入学式のときは、みんな緊張していて、とても話せるような雰囲気ではなく、知り合い同士でしゃべっていました。これが、オリエンテーションに行ってから、クラスの仲は一気に深まりました。それからも徐々に仲は深まり、今に至ります。これからも、勉学に励みながら、クラスの仲を深めていきたいと思っています。これから５年間、よろしくお願いします。

担任インタビュー

物質工学科
小川　和郎

このクラスの特徴を教えてください。

とても元気なクラスです。休み時間は笑い声が絶えず、授業中は静かに勉強に取り組んでいるようです。一方で、恥ずかしがりやさんが多いのか、挨拶の声は若干控えめのように感じます。

どんなクラスになってもらいたいですか？

楽しいときはみんなで笑い、困ったときはみんなで助け合い、辛いときはみんなで励まし、嬉しいときはみんなで喜ぶ。勉強もスポーツも各行事も、全員で協力してやり遂げることができるクラスになって欲しいと願います。

最後にクラスの学生にメッセージを。

入学式前日より３週間も入院し、いきなり迷惑を掛けてしまいました。みなさんも健康には十分気を付け、規則正しい生活習慣を身に付けましょう。特に、挨拶をする、掃除をする、時間を守るという３つの習慣は、生活の基本です。また、「いま何をすべきか」を常に意識し、自発的に行動に移せるように心掛けましょう。

1年建築学科

クラスデータ

学生数　38名（男22、女16）
寮生数　12名
（鳥取中部4、鳥取東部5、島根県1、兵庫県1、愛媛県1）

■高専に入学して　飯尾精一郎

僕は愛媛県の中学校から、米子高専に入学しました。高専の第1印象は、自然が身近にあり良い環境で勉強できてよいことです。

僕は寮で生活しています。寮の先輩も優しく、時には厳しい指導もありますが、すべて僕たちが社会に出たときに困らないために行ってくれています。

学校生活では、友達もいっぱい出来て、とても楽しく毎日を過ごしています。授業では、専門科目の製図に力を入れて頑張っています。部活では中国大会を目標にみんなで一生懸命頑張っています。

これからも、自分にできる精一杯の努力をして、文武両道できるように頑張って楽しい高専生活を送っていきたいです。

■オリエンテーションの感想　早瀬　果歩

新入生オリエンテーションの2日間はとっても楽しかったです。1日目、バスが小さかったことがショックでした。でも部屋がきれいでテレビもあって、トイレも付いていてよかったと思いました。昼食のカレーはつかれていた分とってもおいしかったです。部屋での自由時間は友達と遊べて楽しかったし、今までクラスではあんまり話したことない人と交流できて、仲良くなれてほんとうに良かったと思いました。おふろはとてもキレイでした。友達と入ったおふろはいつもの何倍も楽しかったです。

2日目、朝がとても寒かったです。でも大山寺にいって、そのあと本堂の近くの川に行きました。滝があってそこから見た大山はとてもキレイでした。来て良かったなあと思えました。この新入生オリエンテーションの2日間は笑顔がたえない2日間でした。仲良くなった人もたくさんいるし、これからの高専生活がとても楽しみです。

担任インタビュー

一般科目
酒井　康宏

このクラスの特徴を教えてください。

とても元気の良い、明るいクラスです。男女の仲も良いですね。

どんなクラスになってもらいたいですか？

元気をなくさず、明るさもなくさないで欲しいです。そして、まず他人のことを考えてあげられる人になってください。

最後にクラスの学生にメッセージを。

小学校のときに読んで不思議に思い、ついにみんなと同じ高校1年生のときにフランス語で読み、とても感動したサン・テグジュベリ作『星の王子様』の中の1節「本当に良いものは目には見えない」を贈ります。苦しいときはこの言葉を思い出してください。（本当に大切なのは、成果ではなくそれが花開く過程で頑張った目には見えない努力、友情、汗や涙などです。）

クラブ便り

書 道 部　クラブ紹介

顧問　一般科目　原　　豊二

米子高専書道部は、本年４月の学生総会で承認され、同好会から部へと新たに生まれ変わりました。現在は、火曜日と金曜日に白砂会館で活動をしています。さて、部に昇格したということで、新たに責任も生じることになったと思います。特に、部として活動の継続性をどのように維持していくのか？今年１年はこのようなことに取り組まなくてはなりません。そのために、部員の学年構成を考えることは大変重要な課題です。高専は１年生から５年生までおりますので、高学年が低学年を引っ張っていく、そういう仕組みを作っていきたいと考えています。また、４月から同時に「書道部ＯＢ会」も発足しました。卒業生も時に部員たちを支援してくれるでしょう。最後になりますが、同好会の頃から御支援いただいた方々、また初めて書道部の名前をご覧になった方々、今後とも尽力いたしますので、何卒よろしくお願いします。

高専祭での展示

合唱部、部昇格なる!　クラブ紹介

顧問　一般科目　酒井　康宏

この度、合唱部が同好会から長年の夢であった部へと昇格しました。平成16年の12月に当時1年生だった９名の有志学生により合唱同好会が結成されましたが、念願の部昇格させていただきましたことに深く感謝いたします。

私が赴任する前より、実は高専には「コーラス同好会」なるものが存在しており、「わかとり国体」が開催された1985年には、当時顧問をしていた県立高校の合唱部と合同演奏をさせていただいたことや、当時の高専の男声コーラスの迫力に圧倒されたことが忘れられません。

この「コーラス同好会」は、高専に赴任後もしばらく存在しておりましたが、いつしか消滅してしまいました。そして、平成16年度の「合唱同好会」としての復活、そして念願の部昇格！もう感動でいっぱいです。

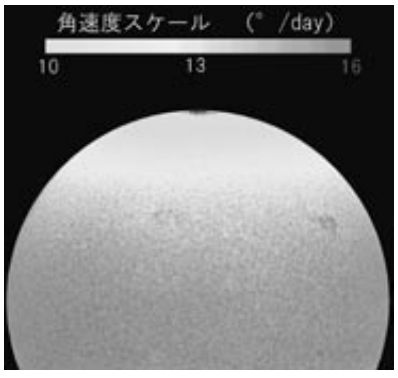
これからは、鳥取県下有数の声楽家でもあられるコーチの常松喜恵子先生と共に、感動のハーモニーを求めて合唱部を盛り上げていきたいと思います。（現在部員募集中）

科学部が天体写真コンテストで最優秀賞を受賞しました

4E　堀江　　麗

僕たち科学部はこの度、アマチュア天文愛好家向けの雑誌『天文ガイド』６月号の読者の天体写真月例コンテストにて最優秀賞に選ばれました。受賞した作品は『太陽の差動回転』で、これは太陽の赤道が両極より早く自転するという現象です。現在太陽活動は極小期です。太陽黒点が観測できない中、何もない太陽の画像を撮像し解析すると太陽の自転が検出できました。さらに、自転の角速度の緯度変化を調べると『差動回転』まで検出できるではないですか！それを画像にしたのが以下の作品です。

太陽の差動回転の検出には本来大望遠鏡と分光器が必要ですが、僕たちはそれを小望遠鏡で成し遂げました。科学部では、今回の受賞を励みに今後も天体の観測・解析を行っていきたいと考えています。



太陽の差動回転を検出した図。赤道から極に行くと自転の角速度が遅くなっている。

カーホビー同好会

カーホビー同好会会長　2D　長尾　武志

2006年春、一部の車好きによって設立されたカーホビー同好会はミニ四駆、ラジコン等のホビーを楽しむ同好会です。現在は主にミニ四駆を中心に活動しており、米子や松江でミニ四駆レースを主催しています。がいな祭やコッコロサンデーといったイベントにも参加させていただいており、多くの家族連れの方にもミニ四駆を楽しんでいただいています。最近では全国の強豪を集めた山陰ミニ四駆選手権も開催し、ミニ四駆を通じた幅広い交流を行っています。レースを主催するなかで同好会員の技術も格段に上がり、昨年のタミヤの公式大会ではついに優勝することもでき、今後の活動を続ける大きな自信ともなりました。同好会員数は11名と多くはありませんが、今後も定期的に大会等を開き、全国のミニ四レーサーと一緒に盛り上がっていきたいと思います。

松江高専定期戦

総合成績
米子高専
4勝10敗

５月16日㈯、松江高専との第44回定期戦が米子・松江の両会場にて行われました。同日、文科系クラブ等の交流会も行われました。

	米子高専		松江高専
バレーボール男子	0	－	2
柔道	2	－	3
剣道	2	－	2
大将戦	引分		
代表決定戦	0	－	1
野球	4	－	7
テニス	1	－	2
バドミントン	3	－	0
バスケットボール男子	60	－	83
バスケットボール女子	47	－	75
ソフトテニス男子	1	－	2
サッカー	0	－	3
卓球	3	－	0
水泳	134	－	101
ハンドボール	21	－	28
ラグビーフットボール	14	－	12

ソフトテニス部

ハンドボール部

バスケットボール部

ラグビー部

剣道部

学生会便り

今年度の学生会

学生会長　５Ａ　伊田　翔一

今年度、学生会には50名を超える学生が集まってくれました。特に１年生が10名以上入るなど、例年見られない現象が起きています。高専に入ってまだ間もない学生が学生会に魅力を持ってくれてとても嬉しく思っています。また３・４年はしっかり者が多く、新しいシステムを次々に考えてくれてとても頼もしく感じています。

６月末には、山口県で中国地方の高専の学生会の会議が開かれます。是非この機会を通して、学生生活を楽しめる情報を得てこようと思います。

これから、球技大会・スポレク・文化発表会・高専祭など多くのイベントが待っています。メンバー全員で協力しあい、去年以上にみなさんに楽しんで頂ける学生会にしていきます!!!

地域共同テクノセンターの紹介

地域共同テクノセンター長　機械工学科　　足立　新治

地域共同テクノセンターは、本校と地域との窓口として、民間企業等との研究協力（共同研究、受託研究、技術交流等）、技術相談、人材育成事業等により地域産業の技術開発及び技術力向上に貢献すべく活動を行っています。また、‘地域と共に歩む高専’として地域連携を推進し、まちづくりや地域社会の発展に寄与することを目的とした地域貢献活動も展開しています。これらの目的のため、行政機関や米子高専振興協力会、産業支援機関等と連携を図る中で下記の活動を推進しています。今年度は、鳥取県との包括連携協力協定を結び（５月29日締結）、地域の発展に貢献すべく新たな取り組みを行う計画にしています。

■主な業務　①共同研究及び受託研究等の推進
②技術交流及び技術相談の推進
③公開講座等地域における人材育成の推進
④その地域連携及び地域貢献活動の推進

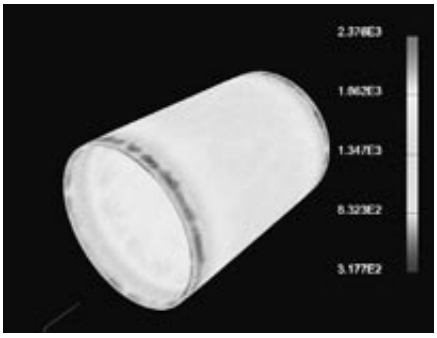
■スタッフ：副センター長　森田慎（M）、センター長補　玉井（A）、松岡（E）

平成21年度の地域貢献活動予定

月	日	イベント	対象	場所
5	23	【文化セミナー】「応急手当の基礎」	一　般	米子市公会堂
6	27	【文化セミナー】「人工関節のおはなし」	一　般	米子市公会堂
7	24～31	【公開講座】初心者のためのパソコン教室	一般・社会人	米　子　高　専
7	25	【公開講座】親子ふれあい科学教室	小学高学年生と保護者	米　子　高　専
7	25	【公開講座】親子で楽しむロボットづくり教室	小学生と保護者	米　子　高　専
8	8	【公開講座】リサイクル工作でインテリア雑貨を作ろう	小学3･4年生（保護者同伴可）	米　子　高　専
8	20,21	【公開講座】レゴ・マインドストームで レーダーヴィークルを作ろう！	中学生	米　子　高　専
8	22	【公開講座】磁石でつくろう！魚ロボット工作教室	小学５・６年生と保護者	米　子　高　専
8	22,23	【公開講座】中学生のためのプログラミング入門「第３回米子高専 Robocode Cup」	中学生	米　子　高　専
10	3	【公開講座】マイコンによるロボット・コントロール入門	中学生	倉吉未来中心
10	24	【文化セミナー】「無限を数える」	一　般	米子市公会堂
11	8	【公開講座】マイコンによるロボット・コントロール入門	中学生	米子コンベションセンター
11	28	【文化セミナー】「超伝導技術のいま」	一　般	米子市公会堂

平成20年度公開講座の様子

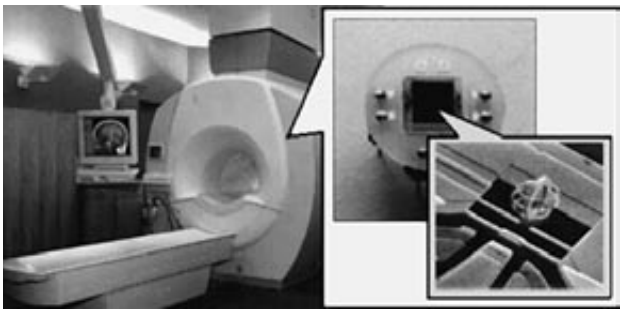
研究紹介　機械工学科　権田岳研究室



本研究室では、多孔質体の強度解析をテーマに、コンピュータを用いた数値シミュレーションと実際の多孔質焼結金属を対象とした実験の両面から研究を行なっています。多孔質材料とは、その名前が示すように物体中に空隙を有する材料のことを指し、我々の身の回りには、木材、コンクリート、フィルター材料など、多くの多孔質材料が存在しています。そして多孔質体の空隙中に流体が浸透していると、物体と流体の相互作用により、内部の流体がクッションのような作用をするという特徴が見られます。本研究室では、このような現象について多孔質構造物の変形や強度の研究を行なっています。

【写真は、数値シミュレーションの結果の一例です。】

研究紹介　電気情報工学科　田中博美研究室



当研究室では、高温超伝導材料の応用に関する研究を行っています。超伝導材料は、磁場に非常に敏感という性質があり、超高感度磁気センサーに応用できます。そのため、先端医療や製品非破壊検査等の分野での利用が期待されています。しかしながら、この超高感度磁気センサーは作製＆運用におけるコストが非常に大きく、普及の妨げとなっています。そこで当研究室では、高温超伝導体を用いて磁気センサーを作製することで、コスト＆性能の改善を試みています。最近の研究で、高温超伝導体に水素を吸蔵させると超高感度磁気センサーの基本素子が作れることが分かりました（：特願2009-79643）。本手法で開発した超高感度磁気センサーは医療・産業分野へ大きく貢献できるため、その波及効果は非常に大きいと期待されます。

２年連続で優秀発表賞を受賞　生産システム工学専攻２年　平野　達也

このたび、3月5日に山口大学工学部にて行われた日本機械学会中国四国学生会第39回卒業研究発表講演会において、優秀発表賞を受賞いたしました。研究題目は「多孔質動圧スラスト・ラジアル複合軸受における潤滑特性の実験的検討」というテーマです。今年度は計316件の講演発表があり，セッションごと平均20件に１件の割で同賞を受賞しています。受賞者の殆どが大学4回生や大学院生という中で昨年度に続き２年連続で受賞できたことを大変うれしく思うとともに、今後はこの受賞を励みに研究の更なる進展を目指していきたいと考えています。最後に、この講演に臨むにあたり、寸暇を惜しんで熱心にご指導、ご助言を下さった指導教員の大塚茂先生に深く感謝いたします。

JENESYSプログラムの受け入れ

教務主事　香川　　律

５月12日から10日間の日程で、（財）日本国際協力センター（JICE）が実施する国際交流事業「21世紀東アジア青少年大交流計画」（JENESYSプログラム、Japan-East Asia Network of Exchange for Students and Youths)の一環としてインド全国から選抜された高校生が訪日し、更に、その中の１グループ（生徒18名、引率２名）が、14日から10日間の日程で米子を訪れました。異文化交流を通じ、学生が世界に目を向ける格好の機会でもあり、14日午後の学校訪問・交流プログラムを本校で受け入れ、電子制御工学科３年生の学生全員がチュータとなって、「電子ロボット・キットの製作体験」プログラムを実施し、その後のキャンパス見学ツアーでは、インドの伝統国技“カバディ”に興じる一時もありました。17日、国際ファミリープラザで開催された歓送会には本校から７名の学生が参加し、インド高校生による寸劇やダンスを楽しみながら、写真を取り合ったり、メール・アドレスを交換し合うなど、交流を深めておりました。

玄関前の集合写真

鳥取県と包括連携協力協定を締結

地域共同テクノセンター

調印後に握手を交わす水島校長(右)と平井知事(左)

本校と鳥取県は、従前から構築してきた連携・協力関係をより緊密かつ強固なものにするために、地域社会の発展と人材育成に寄与することを目的とした包括連携協力協定を締結しました。連携の内容は、地域振興・産業振興、教育・文化の振興及び発展、人材育成に関する事項です。

今年度の取組みは、インターンシップ事業として、県が行っている建築許可申請や不動産評価業務等を建築関係に携わる学生に実施することを協議中です。

また、鳥取県の中山間地域における地域交通・まちづくりを活性化するための、共助交通システムを検討する受託事業を予定しています。

水島校長は「この協定を契機に、より一層県と連携を深めたい。」、平井知事は「教育・行政の枠組みを越えた連携を期待したい。」と述べました。

調印式が行われた５月29日には、調印に先立って、平井知事による本科５年生を対象とした講演が行われました。学生たちの大きな拍手で迎えられた平井知事は、合同講義室満席の学生・教職員を前に、「鳥取県は夢のある若い力に期待しています。チャレンジ精神を持って頑張ってください。」とエールを贈りました。

日本建築学会奨励賞を受賞

建築学科　藤木　竜也

この度、日本建築学会より「近年中に発表された独創性・萌芽性・将来性のある建築に関する優れた論文等の業績」の一つとして「2009年日本建築学会奨励賞」を受賞することが出来ました。

受賞論文は「明治初期の外務卿官舎と太政大臣官舎について」で、近代日本住宅史の「はじめの一歩」であり、現在の我々の住まいの原型として知られる明治政府が各地に建設した官舎にあって、政府高官の官舎として最初期の事例となる外務卿と太政大臣（それぞれ後の外務大臣と内閣総理大臣に相当）の各官舎における、設置・建設に関わる動向と「我が国に導入をみた最初期の洋風住宅の姿」というその建築的特徴の解明に努めたものでした。

こうした官舎建築を含め、住まいにおける洋風化と受け継がれた和風（伝統性）の双方からなる「近代日本の住宅建築の近代化」の解明を主なテーマとして研究に取り組んでおります。この受賞を励みに、これからも積極的に研究活動に取り組んでいきたいと共に、教員として学生の研究活動という教育面においても貢献していきたいと思っております。

我が国最初期の洋風住宅：外務卿官舎

エネルギーと環境コンペで入賞

4A 田淵彩　田邊明子

今回私達がこのエネルギーと環境コンペティションをするにあたって、まず環境とは何か、省エネとは何かということを考えました。現在私達は多くの電気機器に囲まれて快適に生活していますが、私達が快適な生活をしている半面で地球はどんどんと衰退していく状況にあります。地球温暖化…これがいい例ではないでしょうか。このように地球の衰退を少しでも止めるため、まずはあまり電気機器に頼らない生活をしたら良いのではないかと考え、土と木に注目し、どのようにこれらを使い、生活を快適に出来るのか調べ紙芝居に仕上げまとめました。紙芝居は遠くからでも見やすいようにと、色をはっきりと見せられるようにポスターカラーとフェルトで仕上げました。また、紙芝居ということで、ストーリーや説明をなるべく分かりやすくまとめあげ、絵も単純化し、図に細工をしたりと楽しめるように工夫しました。今回このコンペを通して私達が学んだことを、これからは製図に取り入れてみたり、周りに伝えていけたらと思います。

平成21年度　編入学生の紹介

3M　モハマド イズワン ジュオハリ ビン ジャピア (MOHD IZWAN JAUHARI BIN JAPIAH)

はじめまして、イズワンと申します。マレーシアからの留学生です。今から３年間ぐらい米子高専で勉強するつもりです。ですからその時まで頑張って卒業してから、大学に入るつもりです。ここに来る前に、マレーシアでもう２年間日本語を勉強しました。それだけでなく、数学や物理や化学やもう勉強しました。日本の文化も少し習いました。しかし、２年間勉強まだ足りないので、ここに来て勉強を続けて立派な人になりたいと思います。

そして、日本の生活がだんだん慣れています。日本は寒い国ですが、マレーシアは１年間暑いです。そして、ここで食べられる食べ物を探すのは難しいです。宗教である食べ物は食べられません。マレーシアの宗教はイスラム教です。そしてマレーシアの有名な食べ物はクロポックレコールという食べ物です。魚から作られています。マレーシアへ行ったら、食べてみてください。また、キナバル山は東南アジアで一番高い山で、4095メートルぐらいの高さです。そこにラフェリシアという花が世界で一番大きい花があります。

このように、日本のことはまた知らないので、色々なことを教えてもらいたいと思います。ですから、宜しくお願いいたします。

3E　トウンク アスマウィ ビン トウンク イブラヒム (TENGKU ASMAWI BIN TENGKU IBRAHIM)

はじめまして、アスマウィと申します。マレーシアから来ました。日本に来る前にマレーシアで２年間日本語を勉強しました。しかし、米子高専に来てからもう２ヶ月が過ぎて、日本の生活にだんだん慣れてきましたが、２年間の勉強だけではまだ足りないと思います。だから、日本語を上手に話せるように、たくさんの友人を作ろうと思います。

マレーシアは１年中暑いですが、雨もたくさん降ります。しかし、日本の晴れの日でもとても寒いと感じています。

日本に来てはじめて生の魚を食べました。マレーシアではいつも油で揚げたり焼いたりして食べていましたので、中々食べることが出来ませんでした。しかし、だんだん慣れてきて生魚も食べれるようになりました。

日本について知りたいことがたくさんあるので、色々と教えてください。皆さん、どうぞよろしくお願いします。

■４年次編入学生　4A　西川　彰裕
（大阪市立都島工業高校より）

平成21年度行事予定（前期）

4月			5月			6月			7月			8月			9月		
1	水	春季休業	1	金		1	月		1	水		1	土		1	火	
2	木		2	土		2	火		2	木		2	日		2	水	
3	金		3	日	憲法記念日	3	水		3	金	臨時休業	3	月		3	木	
4	土		4	月	みどりの日	4	木	前期中間試験	4	土	高専大会（夏季）	4	火		4	金	
5	日		5	火	子供の日	5	金		5	日		5	水		5	土	
6	月	始業式・ガイダンス	6	水	振替休日	6	土		6	月		6	木		6	日	
7	火	入学式・ガイダンス	7	木		7	日		7	火		7	金	オープンキャンパス	7	月	
8	水	オリエンテーション・学力テスト	8	金		8	月		8	水		8	土		8	火	
9	木		9	土		9	火		9	木		9	日		9	水	
10	金		10	日		10	水		10	金		10	月		10	木	
11	土		11	月		11	木		11	土		11	火		11	金	
12	日		12	火		12	金		12	日		12	水	夏	12	土	
13	月		13	水		13	土		13	月		13	木		13	日	
14	火		14	木		14	日		14	火		14	金	季	14	月	
15	水		15	金		15	月		15	水		15	土		15	火	補講
16	木	新入生オリエンテーション（1年のみ）	16	土	松江高専定期戦	16	火		16	木		16	日	休	16	水	
17	金		17	日		17	水		17	金	特別日課(AM)・保護者懇談会(PM)	17	月		17	木	
18	土	開校記念日	18	月		18	木		18	土	保護者懇談会	18	火	業	18	金	
19	日		19	火		19	金		19	日		19	水		19	土	
20	月		20	水		20	土		20	月		20	木		20	日	
21	火		21	木		21	日		21	火		21	金		21	月	敬老の日
22	水		22	金		22	月		22	水	夏	22	土		22	火	国民の祝日
23	木	健康の日	23	土		23	火		23	木	季	23	日		23	水	秋分の日
24	金		24	日		24	水		24	金		24	月		24	木	
25	土		25	月		25	木	球技大会・壮行会	25	土	休	25	火		25	金	
26	日		26	火		26	金		26	日		26	水		26	土	
27	月		27	水		27	土		27	月	業	27	木		27	日	
28	火		28	木		28	日		28	火		28	金		28	月	
29	水	昭和の日	29	金		29	月		29	水		29	土		29	火	補講
30	木		30	土	高校総体	30	火		30	木		30	日		30	水	
			31	日					31	金		31	月				

前期期末試験

専攻科便り

新年度にあたって

専攻科長　物質工学科　竹中 敦司

昨年度より引き続いて専攻科長を務めることになりました。どうぞよろしくお願い致します。本年度の専攻科担当スタッフは、昨年度からの松本正己副専攻科長（E科）、山口顕司専攻科長補（M科）のほかに、物質工学科から粳間（うるま）由幸先生が専攻科長補として加わって頂きました。今年度の専攻科の最も大きな課題は「教育の実施状況」に関する受審です。また、毎年わずかですが、不合格者を出している学位試験への対応策についても取り組んでいかなければなりません。

さて、４月６日に行われた入学式では生産システム工学専攻15名（うち女子学生２名）、物質工学専攻４名（同１名）、建築学専攻６名（同４名）、合計25名（同７名）の入学者を迎えることができました。外国留学中の20年度入学生１名（女子学生）と２年生の40名（うち女子学生８名）を合わせると66名（女子学生16名）となり、昨年度より10名少なくなりました。

今年度は就職状況が厳しく、専攻科生の中にも入社試験を何度か受験した学生もおります。進学については、今年度もできる限り本校での大学院説明会を開催する等の対応をする予定にしています。２年生諸君には、強い目的意識を持って就職・進学に臨んでほしいと思います。

また、入学間もない１年生の諸君も今から本物の勉強を積んで欲しいと願っています。

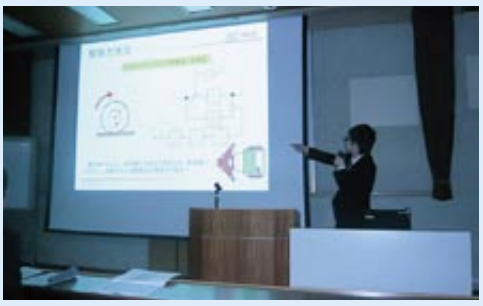
専攻科交流会に参加して

物質工学専攻１年　新出　高浩

４月24、25日に呉工業高等専門学校にて平成21年度中国四国地区高等専門学校専攻科生研究交流会が開催され、機械、電気・電子、情報・制御、土木・建築、物質・化学の５部門で専攻科生による発表が行われました。米子高専からは口頭24件とポスター４件の発表がありました。私はポスター発表にて自分の研究について30分ほど説明を行いました。私にとって、学外で研究発表することは初めてのことであり、他の高専の学生や先生に自分の研究をうまく伝えるにはどうすればよいか、さらに質問に対する回答は適切であったかなど、色々自分なりに工夫して発表に挑みました。また、他高専の専攻科生がどのような研究を行っているのか、どのような発表の仕方をするのか知ることができ、大変有意義な交流会でした。

この専攻科交流会は学生主体によって運営され、プログラムの作成や会の進行はもちろん、口頭発表での座長も学生が行いました。本校の専攻科二年生も初めて座長を任され、発表者と活発な意見を交わしており、これらの先輩たちの姿は、私には大変よい刺激になりました。24日には懇親会が行われ、他高専の学生と交流を図る企画として各高専の学生が作成した学校紹介ビデオが上映されました。どの作品もただ学校紹介するだけでなく、ユーモラスな作品を作成しており、そのため会場の雰囲気は非常に盛り上がっていました。また、他高専の方々とも研究や自分たちの高専のことなどについて話をすることができ、とてもいい経験が出来たと感じています。

専攻科研究交流会の様子



編集後記

彦名通信は、在校生の保護者を主な対象とした広報誌です。学生の日常の様子、クラブ活動・各種行事の様子、本校の研究・地域貢献活動等について、お伝えしていきたいと考えております。紙面へのご意見・ご感想を、メール（hikona@yonago-k.ac.jp）にてぜひお寄せください。今年度の編集委員は越智（G科）、玉井（A科）、森田慎（M科）、黒川（G科）の４名で、年４回発行予定です。

※記事中において、学科名をアルファベットで表している箇所があります。
M…機械工学科、E…電気情報工学科、D…電子制御工学科、C…物質工学科、A…建築学科、
G…一般科目、S…専攻科
例えば、「１M」は機械工学科１年生を表しています。

発行：米子高専広報委員会
〒683-8502　鳥取県米子市彦名町 4448　TEL: 0859-24-5023　FAX: 0859-24-5029　印刷：勝美印刷株式会社
E-mail: hikona@yonago-k.ac.jp ホームページ：http://www.yonago-k.ac.jp/　⇒メニューより「キャンパスライフ」